

自己評価書作成要領

教職大学院の認証評価

平成28年12月19日

一般財団法人教員養成評価機構

教員養成評価機構（以下「機構」という）は、申請のあった大学の教職大学院に対して、「教職大学院等の認証評価に関する規程」に定める事項に従い、「教職大学院評価基準」に基づき、認証評価を行います。

認証評価は、『認証評価実施要項』のとおり書面調査と訪問調査により実施します。

まず、認証評価を受ける教職大学院は、それぞれ自己評価を実施し、自己評価書を作成します。書面調査は、各教職大学院が作成した自己評価書（現況票等の基礎データや自己評価の根拠として提出する資料・データを含む）及び評価専門部会が独自に調査・収集する資料・データ等により分析を行います。訪問調査では、別に定める『訪問調査実施要領』に基づき、書面調査で確認できなかった事項等を調査します。

この『自己評価書作成要領』は、各教職大学院で行う自己評価の方法等についてまとめたものです。本要領をもとに適切かつ効率的な自己評価を実施してください。

第1 自己評価の内容

認証評価を受ける各教職大学院は、自己評価を実施し、自己評価書を作成します。自己評価は、10個の基準領域による「基準」ごとに、その内容について基本的な観点を踏まえた教育活動等の状況を分析し、記述します。すべての「基本的な観点」に係る状況の分析・整理が求められますが、設置基準との整合性や各教職大学院の状況・特色等から判断し、①基準に係る状況が該当する観点を除いても十分に説明できる場合や②観点の内容に該当しない場合には、自己評価書の「基準に係る状況」は当該観点を除いた記述で差し支えありません。

また、基準領域ごとの「長所として特記すべき事項」は、各教職大学院の特徴を具体的に記述します。

「基礎データ」は、自己評価書に添付するもので、「1 現況票」「2 専任教員個別表」「3 専任教員の教育研究業績」で構成されています。1, 2は、実施年度の5月1日現在とし、3の教育研究業績は、最初の認証評価にあっては、設置時からの業績、2回目からは前回実施年度からの業績が対象となります。

「必要な資料・データ」は、基本的には、統計的なものとし、基準ごとに、評価作業に必要と思われるものを列挙しているので、なるべく既成のものを活用願います。

自己評価書提出後、機構では、「書面調査」及び「訪問調査」を実施し、評価結果案を作成します。評価結果を決定する前に、評価結果案を大学に通知し、その内容等に対する申立ての機会を設け、必要により再度審議します。意見の申立てがあった場合には、機構は、意見申立審査会を設け、審議します。意見の申立てに対する審議を経て、評価委員会において評価結果を決定します。

第2 認証評価のスケジュール

評価実施の前年度

- 1 1月 ・実施大学から評価申請
- 3月 ・評価委員会 評価実施大学の決定
- ・実施通知・評価手数料支払書類等送付

評価実施年度

- 5月 ・評価委員会 評価専門部会の設置、評価員の選出
- ・評価手数料納付
- 6月 ・評価専門部会 評価員の研修
- ・実施大学から自己評価書の提出
- 7月～8月 ・書面調査

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 9月 | ・評価専門部会（評価チーム会議） 訪問調査の打合せ |
| 10月～11月 | ・訪問調査 |
| 12月 | ・評価専門部会 評価結果原案の決定 |
| 1月 | ・評価委員会 審議・評価結果案提示
・意見の申立て手続き |
| 2月 | ・意見申立審査会 審議 |
| 3月 | ・評価委員会 審議・評価結果の決定 |

第3 自己評価の構成及び様式

自己評価書は、次の様式で作成してください。

なお、様式は機構ウェブサイト (<http://www.iete.jp/>) からダウンロードしてください。

- ① 自己評価書は、A4縦長・横書きで作成してください。上下左右 25mm程度の余白をとってください。
- ② 原則として、日本語は明朝体で全角、英字は明朝体で半角、数字は、1桁は明朝体で全角、2桁以上の数字は、明朝体で半角を使用してください。
- ③ 「I 教職大学院の現況及び特徴」の頁から中央下に通し番号（-〇-形式）を付けてください。
- ④ 表紙を除く各頁の右上に教職大学院の名称を付けてください。
例：「〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻」
- ⑤ 基準領域ごとの自己評価の各頁には、教職大学院の名称に加えて、「基準領域〇」を付けてください。
例：「〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 基準領域〇」
- ⑥ 基準領域ごとに改頁してください。

I 教職大学院の現況及び特徴

教職大学院の現況及び特徴は、次の内容構成で 横50字縦40行程度で、1頁にまとめてください。使用する書体は、原則として明朝体で、字の大きさは、9ポイントとしてください。

1 現況

(1) 教職大学院（研究科・専攻）名

教職大学院の名称を記述してください。 例：〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

(2) 所在地

教職大学院の設置計画書に記載した「大学本部の位置」を記入してください。

例：〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

(3) 学生数及び教員数

評価実施年度5月1日現在の教職大学院の学生数及び教員数を記入してください。

学生数は、評価実施年度5月1日現在の在籍学生の総数を記入してください。

教員数は、休職を除く専任教員数とし、かつこ書きで実務家教員の数を内数で付記してください。

例：学生数 〇〇人

教員数 〇〇人（うち実務家教員〇人）

2 特徴

教職大学院設置までと設置後の沿革や教職大学院設置の理念、設置目的に至る考え方などを含めながら、教職大学院の特徴がわかるように、記述してください。教職大学院のパンフレット等の文章を引用するなどしても構いません。

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

I 教職大学院の現況及び特徴

1 現況

(1) 教職大学院（研究科・専攻）名 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

(2) 所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

(3) 学生数及び教員数（平成〇〇年5月1日現在）

<p>学生数 ○○人 教員数 ○○人（うち、実務家教員 ○○人）</p> <p>2 特徴</p> <p>..... </p> <p style="text-align: center;">- 1 -</p>

II 教職大学院の目的

専門職大学院設置基準第2条第1項に「専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする」とされています。教職大学院は、専門職大学院設置基準第26条（教職大学院の課程）に「小学校等の高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員の養成のための教育を行うことを目的とする」とされています。また、学校教育法第109条第3項において、「専門職大学院の設置の目的に照らし、当該専門職大学院の教育課程、教育組織その他教育研究活動の状況について認証評価を受けるものとする」とされています。

そこで、教職大学院の認証評価においては、自己評価書で、法令による教職大学院そのものの目的に照らし各教職大学院が目標を明示することにより、その目的に向かって教育活動等が実施されているか、評価基準ごとに達成状況を中心に調査、分析します。

法令等に示されている教職大学院の「目的」に照らし、1) 教職大学院の使命や教職大学院がめざすもの、2) 教職大学院で養成しようとする人物（教員）像、3) 教育活動等を実施する上での基本方針、4) 達成すべき成果などを、原則として横50字縦40行程度で、1頁にまとめてください。使用する書体は、原則として明朝体で、字の大きさは、9ポイントとしてください。

○○大学大学院○○研究科○○専攻
<p>II 教職大学院の目的</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p style="text-align: center;">- 2 -</p>

III 基準ごとの自己評価

「基準ごとの自己評価」は、次の**基準領域1**から**基準領域10**ごとに、

- 1 基準ごとの分析
 - ・各基準の〔基準に係る状況〕の記述
 - ・ 《資料・データ等》リスト
 - ・ （基準の達成状況についての自己評価）（特に記述すべき事項を含む）
- 2 「長所として特記すべき事項」

を記述します。

字数は、1基準あたり1,500字（50字×30行）程度とします。基準数の多い基準領域3や基準領域6については、適宜オーバーしても構いません。使用する書体は、原則として明朝体で、字の大きさは、9ポイントとしてください。

「基準ごとの自己評価」全体では、45,000字以内を字数制限の目安としてください。基準領域1、基準領域2・・・基準領域10の基準領域ごとに、それぞれ改頁してください。

1 評価基準

教職大学院の認証評価の基準領域は、1から10に分かれていて、各基準領域のなかに、1または複数の基準があります。

たとえば基準領域1（理念・目的）は、1-1から1-2まで2つの基準があります。

この2つの基準は、レベルⅠ、レベルⅡのいずれかに分類されています。レベルⅠは、各教職大学院において、定められた内容が満たされることが求められるものです。レベルⅡは、各教職大学院において、定められた内容に関する措置を講じていることが期待されるもので、レベルⅡの評価結果は、基準の内容についての各教職大学院の充実度を示すものです。したがって、認証評価においては、レベルⅠの基準をすべて満たし、評価基準に適合していると認められた場合に、「適格認定」が与えられます。

各基準の次に基準の内容を分析するための「基本的な観点」の番号を、かっこ書きで付記しています。

2 基準に係る状況

自己評価書において、基準ごとに〔基準に係る状況〕を記述しますが、目的との関連や「基本的な観点」の状況を踏まえて、教育活動等の取組や活動の内容等について、当該基準に係る状況を分析します。客観的な事実を記述してください。

たとえば基準領域2の基準2-1の場合は、「基本的な観点」2-1-1を踏まえた分析となり、基準2-2の場合は、2-2-1及び2-2-2の2つの「基本的な観点」を踏まえた分析となります。

すべての「基本的な観点」に係る状況の分析・整理が求められますが、設置基準との整合性や各教職大学院の状況・特色等から判断し、①基準に係る状況が該当する観点を除いても十分に説明できる場合や②観点の内容に該当しない場合には、自己評価書の「基準に係る状況」は当該観点を除いた記述で差し支えありません。

〔基準に係る状況〕の根拠となる資料・データ等のうち、〔基準に係る状況〕の文章記述とあわせて示すことによって、状況説明が分かりやすいと判断されるものについては、必要な箇所を抽出して、資料・データ等を挿入してください。その場合、資料・データ名及び出典（かっこ書き）を付記してください。開示にそぐわない、あるいは、著作権上相応しくない資料・データ等は、本文に挿入はしないでください。

なお、本文挿入した資料・データ部分は字数のカウントからは除きます。

3 基礎データ

本文中に基礎データの内容について記述をするときは、「基礎データ1-〇参照」としてください。

「1現況票」は、評価実施年度5月1日現在のデータを記述してください。

「2専任教員個別表」は、評価実施年度5月1日現在で作成してください。設置審査、履行状況調査で作成した同様の資料で替えても構いません。

「3教育研究業績」は、評価実施年度5月1日現在の専任教員が対象です。人事選考等で作成した同様の資料でも構いません。その場合、部分的に追加で必要な事項を確認することがあります。設置後最初の認証評価では、設置時からの業績、2回目の認証評価からは前回実施年度からの業績が対象となります。

なお、設置時の教員組織が維持されているかを分析・確認するものであり、個人の業績審査をするものではありません。

4 資料・データ等

《根拠となる資料・データ等の例示》を参考に、基準ごとに〔基準に係る状況〕の記述の根拠となる必要な資料・データ等とその資料番号を簡条書き（リスト形式）してください。記載の資料・データ等は、資料集として整理し、自己評価書とあわせて提出します。

5 基準の達成状況についての自己評価

レベルⅠ、レベルⅡにかかわらず、基準の達成状況についての自己評価を次の標語で記入してください。

A…十分に達成している。（レベルⅡの場合は、優れた、あるいは充実した取組、活動となっている。）

B…達成している。（レベルⅡの場合は、相応の取組、活動となっている。）

C…達成しているが問題・課題がある。（レベルⅡの場合は、期待された取組、活動となっていない。）

また、「1）当該標語とした分析結果」、「2）評価上で特に記述すべき点」について、1000字程度（50字×20行）までの分量で記述してください。

6 「長所として特記すべき事項」

各基準領域の最後に設けた特記事項「長所として特記すべき事項」は、当該教職大学院の特色になっていて、基準やその「基本的な観点」にあてはまらない事柄や収まりきらない事柄を含めて、広く紹介することにより各教職大学院の教育活動等の支えを促すことをねらいとしています。具体的な内容を、1000字程度(50字×20行)で簡潔にまとめ、今後の伸張策等を含め、自由に、そして積極的に記述してください。

資料・データ等の挿入も構いません。挿入した資料・データは、字数のカウントからは除きます。

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 基準領域 1

III 基準ごとの自己評価

基準領域 1

略

基準領域 3 教育の課程と方法

1 基準ごとの分析

基準 3-1 レベル I

○ 教職大学院の制度並びに各教職大学院の目的に照らして、理論的教育と実践的教育の融合に留意した体系的な教育課程が編成されていること。

[基準に係る状況]

.
. [資料○].
.
. [資料○].

《必要な資料・データ等》

[資料○] 開講授業科目一覧 (学生便覧 P. ○)

[前掲資料○] 大学院案内 (p. ○)

[資料○] 履修モデル

[資料○] 時間割 (学生便覧 P. ○)

.
.

(基準の達成状況についての自己評価: A)

- 1)
2)

基準 3-2 レベル I

○ 教育課程を展開するにふさわしい授業内容、授業方法・形態が整備されていること。

[基準に係る状況]

.
. [資料○].
.
. [資料○].

「データ名」

(出典: P. ○)

《必要な資料・データ等》

- ・
- ・
- [資料○] 教員一覧、教員分類別内訳
- [資料○] 科目別専任教員数一覧
- [資料○] シラバス（学生便覧P. ○）
- [資料○] 履修モデル
- ・
- ・

(基準の達成状況についての自己評価：B)

基準3-3 レベルI

基準3-4 レベルI

基準3-5 レベルI

2 「長所として特記すべき事項」

.....

.....

.....

-○-

基準領域ごとに改頁する。

IV 自己評価書のイメージ

教職大学院認証評価
自己評価書

平成 年 月
○○大学大学院○○研究科○○専攻

○○大学大学院○○研究科○○専攻

目 次

I 教職大学院の現況及び特徴・・・・・・・・・・ 1

II 教職大学院の目的・・・・・・・・・・ 2

III 基準ごとの自己評価

 基準領域1 ○○・・・・・・・・・・ 3

 基準領域2 ○○・・・・・・・・・・ ○

 基準領域3

 基準領域4

 基準領域5

 基準領域6

 基準領域7

 基準領域8

 基準領域9

 基準領域10 ○○・・・・・・・・・・ ○

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

I 教職大学院の現況及び特徴

1 現況

(1) 教職大学院（研究科・専攻）名：
 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

(2) 所在地：〇〇県〇〇市〇〇町〇ー〇ー〇

(3) 学生数及び教員数（平成〇〇年5月1日現在）
 学生数 〇〇人
 教員数 〇〇人（うち、実務家教員 〇〇人）

2 特徴

.....

- 1 -

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

II 教職大学院の目的

1

.....

2

.....

- 2 -

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 基準領域1

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 基準領域1

III 基準ごとの自己評価

基準領域1 理念・目的

1 基準ごとの分析

基準1-1 レベルI

○.....

[基準に係る状況]

.....

《必要な資料・データ等》
()

(基準の達成状況についての自己評価：A)

1).....

2).....

基準1-2 レベルI

○.....

[基準に係る状況]

~~~~~

2 「長所として特記すべき事項」

- 3 -

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻基準領域10

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻基準領域10

基準領域10 教育委員会及び学校等との連携

1 基準ごとの分析

基準10-1 レベルI

○.....

[基準に係る状況]

.....

《必要な資料・データ等》  
 .....( )

.....( )

(基準の達成状況についての自己評価：B)

1).....

2).....

- 〇 -

## V 自己評価書の提出

## 1 提出方法

「自己評価書」は、冊子体を**20部**、電子媒体を**1部**提出してください。（訪問調査時の部数は、「1-3 訪問調査実施要領 III 当日の対応（4）資料・データ等の確認、収集」参照）

|                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>教職大学院認証評価<br/>自己評価書</p> <p>（2箇所ホッチキス止め）</p> <p>平成 年 6 月<br/>〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------|

冊子（紙媒体）は、表紙の裏面を目次とし、頁なし。  
以下、「I 教職大学院の現況及び特徴」から通し頁を付して両面印刷とする。  
表紙を含め、通常のコピー用紙を使用する。

電子媒体はCD-RかUSBメモリのいずれかとしてください。

ファイル形式は、PDF等に変換せず、MS-Word形式でご提出ください。外字、特殊な漢字等の使用は注意してください。

**基礎データ**は、**8セット**提出願います。

1 現況票、2 専任教員個別表、3 専任教員の教育研究業績の順に綴り、ファイル綴じ等の方法でまとめてください。

**資料・データ等**は、シール、インデックス等で資料番号を付し、**8セット**提出願います。

基準領域順に出来るだけファイル綴じし、散在しないよう配慮願います。

適宜、目次（一覧表）を付してください。

シール・インデックスの作成例

|        |      |
|--------|------|
| 基準〇-〇〇 | 〇〇大学 |
|--------|------|

（添書の例）

自己評価書には、別紙のような書式により、添書（鑑・公文書）を付してください。

## 2 提出期限及び提出先

（1）提出期限 **平成29年6月30日（金）**

（2）提出先 184-8501  
東京都小金井市貫井北町4-1-1  
東京学芸大学内  
教員養成評価機構事務局

（3）提出手段 郵便または宅配便  
電子媒体は破損しないよう配慮願います。  
「教職大学院認証評価自己評価書 在中」と表示してください。

|                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>文書番号<br/>平成 年 月 日</p> <p>一般財団法人<br/>教員養成評価機構理事長殿</p> <p>〇〇大学長<br/>〇〇〇〇公印</p> <p>教職大学院認証評価にかかる<br/>自己評価書の提出について</p> <p>教職大学院認証評価を受けるにあたり、本<br/>学大学院〇〇研究科〇〇専攻の自己評価書及<br/>び関係資料を別添のとおり提出いたします。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



## 教職大学院評価基準の基準ごとに〔基準に係る状況〕の記述の根拠となる資料・データ等の例示

| 基準領域1：理念・目的                                             |                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                    | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                           |
| 1-1：レベルI<br>○ 当該教職大学院の理念・目的が法令に基づいて明確に定められていること。(1-1-1) | <input type="checkbox"/> 教職大学院の教育上の理念・目的等の明文化された冊子等の該当箇所(学則、研究科及び専攻等の概要、入学者選抜要項、ウェブサイト等の抜粋)                                                            |
| 1-2：レベルI<br>○ 人材養成の目的及び修得すべき知識・能力が明確になっていること。(1-2-1)    | <input type="checkbox"/> 教職大学院の養成しようとする教員像等の明文化された冊子等の該当箇所(学則、研究科及び専攻等の概要、入学者選抜要項、ウェブサイト等の抜粋)<br><input type="checkbox"/> 既設修士課程の概要、入学者選抜要項、ウェブサイト等の抜粋 |

| 基準領域2：学生の受入れ                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                                         | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                                                                                |
| 2-1：レベルI<br>○ 人材養成の目的に応じた入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)が明確に定められていること。(2-1-1)          | <input type="checkbox"/> 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)本文(入学者選抜要項等の刊行物やウェブサイトなど、公表されている資料の抜粋)                                                                                                                        |
| 2-2：レベルI<br>○ 入学者受入方針に基づき、公平性、平等性、開放性が確保され、適切な学生の受入れが実施されていること。(2-2-1、2-2-2) | <input type="checkbox"/> 入学者選抜要項<br><input type="checkbox"/> 入学試験問題及び面接試験の方法と形態<br><input type="checkbox"/> 入学者選抜の審査基準に関して定めた規則(面接の評価の観点等)<br><input type="checkbox"/> 入学者選抜に関する組織体制及びそれが適切に運用されていることが分かる資料 |
| 2-3：レベルI<br>○ 実入学者数が、入学定員と比較して適正であること。(2-3-1)                                | <input type="checkbox"/> 学生数の状況(志願者数、合格者数、入学者数の推移を指定の様式に記載)                                                                                                                                                 |

| 基準領域3：教育の課程と方法                                                                        |                                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                                                  | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                     |
| 3-1：レベルI<br>○ 教職大学院の制度並びに各教職大学院の目的に照らして、理論的教育と実践的教育の融合に留意した体系的な教育課程が編成されていること。(3-1-1) | <input type="checkbox"/> 開設授業科目一覧<br><input type="checkbox"/> 教育課程の構造が把握できる資料<br><input type="checkbox"/> 時間割表<br><input type="checkbox"/> 履修モデル |

|                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>3-2: レベル I</p> <p>○ 教育課程を展開するにふさわしい授業内容、授業方法・形態が整備されていること。(3-2-1)</p>       | <p><input type="checkbox"/> 開設授業科目一覧</p> <p><input type="checkbox"/> シラバス (全科目)</p> <p><input type="checkbox"/> 履修科目登録の状況の把握できる資料</p> <p><input type="checkbox"/> 授業で取り上げた事例研究等の内容</p>                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>3-3: レベル I</p> <p>○ 教職大学院にふさわしい実習が設定され、適切な指導がなされていること。(3-3-1)</p>           | <p><input type="checkbox"/> 実習の内容を示す資料</p> <p><input type="checkbox"/> 実習の実習記録 (個人・学校の情報を除いた複写物。各コース 2~3 名分)</p> <p><input type="checkbox"/> 連携協力校についての状況を把握できる資料</p> <p><input type="checkbox"/> 現職教員学生の現任校での勤務状況</p> <p><input type="checkbox"/> 現職教員学生の実習の状況を把握できる資料</p> <p><input type="checkbox"/> 実習の免除を行う場合、根拠・考え方を示す資料</p> <p><input type="checkbox"/> 実習の免除を行う場合、免除の要件と手続きとその資料</p> <p><input type="checkbox"/> 実習の免除を行う場合、免除の要件と手続きを定める規程等</p> |
| <p>3-4: レベル I</p> <p>○ 学習を進める上で適切な指導が行われていること。(3-4-1)</p>                      | <p><input type="checkbox"/> 履修科目登録に関する規則等</p> <p><input type="checkbox"/> おもな履修例が把握できる資料</p> <p><input type="checkbox"/> シラバスの授業計画・授業科目概要など授業内容を示した箇所</p> <p><input type="checkbox"/> オフィスアワー等の実施状況を把握できる資料</p> <p><input type="checkbox"/> 指導体制と指導方法の実施計画書</p> <p><input type="checkbox"/> 計画された指導体制と指導方法によって遂行されている状況を示す資料等 (ポートフォリオ等の記録資料)</p> <p><input type="checkbox"/> TA等の活用がある場合、その活用・配置状況が把握できる資料</p>                                          |
| <p>3-5: レベル I</p> <p>○ 成績評価や単位認定、修了認定が大学院の水準として適切であり、有効なものとなっていること。(3-5-1)</p> | <p><input type="checkbox"/> 評価の観点、基準を明示できる規則等</p> <p><input type="checkbox"/> シラバスの成績評価を示した箇所</p> <p><input type="checkbox"/> 各種試験の実施状況が把握できる資料</p> <p><input type="checkbox"/> 学期末の試験・レポート課題および評価の観点</p> <p><input type="checkbox"/> 評価、認定を実施する仕組みに関する規程等</p> <p><input type="checkbox"/> 修了認定のための基準と方法を示す規定等書類</p> <p><input type="checkbox"/> 修了認定作業の実施状況報告書</p>                                                                                      |

| 基準領域 4: 学習成果・効果                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                                                                   | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>4-1: レベル I</p> <p>○ 各教職大学院の人材養成の目的及び修得すべき知識・能力に照らして、学習の成果や効果が上がっていること。(4-1-1、4-1-2、4-1-3、4-1-4)</p> | <p><input type="checkbox"/> 単位修得率、学位取得率、修了率、各種資格取得の状況を示すデータ</p> <p><input type="checkbox"/> 留年・休学・退学の状況を示すデータ</p> <p><input type="checkbox"/> 学生の学習成果・効果の全般を示すデータ</p> <p><input type="checkbox"/> 修了生の教員就職等進路状況の実績、成果を示すデータ</p> <p><input type="checkbox"/> 各種教育賞等の受賞状況</p> <p><input type="checkbox"/> 課題研究等の成果を示すもの</p> |
| <p>4-2: レベル I</p> <p>○ 修了生が教職大学院で得た学習の成果が学校等に還元できていること。また、その成果の把握に努めていること。(4-2-1、4-2-2、4-2-3)</p>      | <p><input type="checkbox"/> 修了生の赴任先等の学校関係者・教育委員会等からの意見聴取の機会 (懇談会、アンケート調査、インタビュー調査等) の概要、その結果が把握できる資料</p> <p><input type="checkbox"/> 修了生の赴任先での教育研究活動や教育実践課題解決等に関わる取組の報告書等</p> <p><input type="checkbox"/> 修了生追跡調査等 (修了生の自己評価や校長等の評価、修了生の学校内外でのリーダー的役割等の活躍状況)</p> <p><input type="checkbox"/> 修了生の各種教育賞等の受賞状況</p>          |

| 基準領域 5 : 学生への支援体制                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                                                 | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 5-1 : レベル I<br>○ 学生相談・助言体制、キャリア支援等が適切に行われていること。(5-1-1、5-1-2、5-1-3、5-1-4、5-1-5、5-1-6) | <input type="checkbox"/> 学生生活導入教育ガイダンス資料<br><input type="checkbox"/> 進路指導・就職相談・キャリア支援等に関する組織体制及び利用状況・相談実施状況が分かる資料<br><input type="checkbox"/> 進路・就職に関するガイダンスや情報提供システム等に関する資料<br><input type="checkbox"/> 現職教員学生と学部新卒学生の特性や差異に配慮した指導状況が把握できる資料<br><input type="checkbox"/> 障害のある学生・その他支援が必要な学生に対する特別な指導体制・指導実績や具体的な指導マニュアル等が把握できる資料<br><input type="checkbox"/> ハラスメント・人権侵害に関する相談体制・委員会規則や啓発防止活動が把握できる資料<br><input type="checkbox"/> 学習相談・学習個別指導体制及びその利用・実施状況が把握できる資料<br><input type="checkbox"/> 学生のメンタルヘルス支援システム及び稼働状況やメンタルヘルス支援のマニュアル等が把握できる資料 |
| 5-2 : レベル II<br>○ 学生への経済支援等が適切に行われていること。(5-2-1)                                      | <input type="checkbox"/> 授業料免除や奨学金・教育ローン等の募集要項・採用基準・貸与実績に関する資料                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

| 基準領域 6 : 教員組織                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                                                     | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 6-1 : レベル I<br>○ 教職大学院の運営に必要な教員が適切に配置されていること。(6-1-1、6-1-2、6-1-3、6-1-4、6-1-5、6-1-6、6-1-7) | <input type="checkbox"/> 教員配置表(専攻・コース別、研究者教員と実務家教員の別を明記すること。)<br><input type="checkbox"/> 教員の業績一覧(専攻・コース別)<br><input type="checkbox"/> 実務家教員の教職経験等を確認できる資料<br><input type="checkbox"/> 教員の情報開示に関する資料(自己点検・評価結果が掲載された刊行物、ウェブサイト等)<br><input type="checkbox"/> 授業科目担当一覧(専攻・コース別)<br><input type="checkbox"/> 多様な教員の雇用形態にかかわる規則(例えば、みなし教員、任期付教員等に係る規則等) |
| 6-2 : レベル I<br>○ 教員の採用及び昇格等の基準が、適切に定められ、運用されていること。(6-2-1、6-2-2)                          | <input type="checkbox"/> 教員の年齢構成、性別構成を示す資料<br><input type="checkbox"/> 教員組織の活動をより活性化するための措置にかかる規則<br><input type="checkbox"/> 教員選考基準に関する規則<br><input type="checkbox"/> 教員選考手続に関する規則                                                                                                                                                                  |
| 6-3 : レベル II<br>○ 教職大学院における教育活動に関する研究活動が組織的に取り組まれていること。(6-3-1)                           | <input type="checkbox"/> 組織的な研究に関する規則等<br><input type="checkbox"/> 組織的な研究活動の状況が分かる資料                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 6-4 : レベル I<br>○ 授業負担に対して適切に配慮されていること。(6-4-1、6-4-2)                                      | <input type="checkbox"/> 授業科目及び総担当時間数一覧(専攻・コース別)                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 基準領域7：施設・設備等の教育環境                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                                                                               | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 7-1：レベルI<br>○ 教職大学院の教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備並びに図書、学術雑誌等の教育研究上必要な資料が整備され、有効に活用されていること。(7-1-1、7-1-2、7-1-3、7-1-4、7-1-5) | <input type="checkbox"/> 教職大学院の専用施設・設備の概要・見取図・施設整備計画・利用状況が分かる資料<br><input type="checkbox"/> 自主的学習環境の施設・設備の概要・見取図・施設整備計画・利用状況が分かる資料<br><input type="checkbox"/> 図書館案内や図書資料の利用方法等に関する資料<br><input type="checkbox"/> 実践的な研究を行う上での図書・学術雑誌・教育実践資料等の配備状況や教職大学院向け図書予算が分かる資料<br><input type="checkbox"/> 複数キャンパスがある場合、各キャンパスに配備された施設・設備に関する資料 |

| 基準領域8：管理運営                                                                                       |                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                                                             | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                                                                         |
| 8-1：レベルI<br>○ 各教職大学院の目的を達成するために必要な管理運営のための組織及びそれを支える事務組織が整備され、機能していること。(8-1-1、8-1-2、8-1-3、8-1-4) | <input type="checkbox"/> 教職大学院の運営組織図<br><input type="checkbox"/> 教職大学院の運営に関する規則<br><input type="checkbox"/> 会議の資料<br><input type="checkbox"/> 会議の議事録<br><input type="checkbox"/> 教職大学院の事務組織及び職員の配置一覧 |
| 8-2：レベルI<br>○ 教職大学院における教育研究活動等を適切に遂行できる経費について、配慮がなされていること。(8-2-1)                                | <input type="checkbox"/> 教育研究基盤経費の配分基準と配分表                                                                                                                                                           |
| 8-3：レベルI<br>○ 教職大学院における教育研究活動等の状況について、広く社会に周知を図ることができる方法によって、積極的に情報が提供されていること。(8-3-1)            | <input type="checkbox"/> 大学の広報誌<br><input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット                                                                                                                            |

| 基準領域 9 : 点検評価・FD                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                                                                              | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 9-1 : レベル I<br>○ 教育の状況等について点検評価し、その結果に基づいて改善・向上を図るための体制が整備され、取り組みが行われており、機能していること。(9-1-1、9-1-2、9-1-3、9-1-4、9-1-5) | <input type="checkbox"/> 点検評価の組織的な取り組みの計画と実施状況報告書<br><input type="checkbox"/> 実施されている学生の授業評価等の概要とその結果報告書<br><input type="checkbox"/> 学生の授業評価等の結果を教育活動改善へと結び付けていくための取り組み報告と具体的な改善例の説明<br><input type="checkbox"/> 学外関係者等の意見を把握する取り組みの計画と実施報告書<br><input type="checkbox"/> 学外関係者等の意見を把握する取り組み結果を教育活動改善へと結び付けていくための取り組み報告と具体的な改善例の説明<br><input type="checkbox"/> 教育活動改善のための取り組みの実施報告(点検評価の結果をフィードバックする方法、見直しのための方法や組織的取り組み等の実態)<br><input type="checkbox"/> 教育活動改善のための評価活動が機能していることが把握できる資料<br><input type="checkbox"/> 自己点検評価、外部評価に関する規則<br><input type="checkbox"/> 自己点検評価、外部評価の実施体制が把握できる資料<br><input type="checkbox"/> 点検評価書<br><input type="checkbox"/> 保管されている情報の種類及び保管方法が把握できる資料 |
| 9-2 : レベル I<br>○ 教職大学院の担当教員等に対する研修等、その資質の向上を図るための組織的な取り組みが適切に行われていること。(9-2-1、9-2-2)                               | <input type="checkbox"/> 個々の教員レベルにおいて改善のための評価活動が機能していることを把握できる資料<br><input type="checkbox"/> 個々の教員の教育活動改善事例<br><input type="checkbox"/> 学生や教職員のニーズをくみ上げる制度の存在とそれが機能していることが把握できる資料<br><input type="checkbox"/> FD活動の企画・実施・改善の状況報告書(教職員の参加状況を含む)<br><input type="checkbox"/> 研究者教員の実践的な知見の充実、実務家教員の理論的な知見の充実を図ることを意図した取り組み例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

| 基準領域 10 : 教育委員会及び学校等との連携                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (基準)                                                                              | 《必要な資料・データ等》                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 10-1 : レベル I<br>○ 教職大学院の目的に照らし、教育委員会及び学校等と連携する体制が整備されていること。(10-1-1、10-1-2、10-1-3) | <input type="checkbox"/> 教職大学院の運営組織図(教育委員会や連携協力校を含む)<br><input type="checkbox"/> 教職大学院の運営に関する規則<br><input type="checkbox"/> 大学との連携の状況を把握できる資料<br><input type="checkbox"/> 教育委員会及び学校等との連携に関する会議の資料<br><input type="checkbox"/> 上記会議の議事録<br><input type="checkbox"/> 教員委員会と締結した協定文書等 |